

# ごとう通信

第174号

平成27年6月1日

今年は五月から暑い日がありましたねえ。何となく猛暑を想像させる立ち上がり。しかもあおるマスコミ。よくわかりませんが、ニュースなどは「今日はとても暑くてみんな大変だった。それもそのはず。今年の気温は平年より何度も高いんだから」という公式にのっとってニュースを作ってるんじゃないかと思ってしまう。まあ、夏は暑いものですから適度に暑い夏であってほしいですね。

さて、先月は偶然二度広島に帰省する機会がありました。一度目はゴールデンウィーク、もう一度は講演に呼ばれて。ゴールデンウィークは新幹線で、二度目は飛行機での移

動でした。

さて、広島県民にとってソウルフードはお好み焼き。もちろん二度の帰広とも食べてきました。新幹線で広島につくと荷物を持ったままいつものお店へ。40分ほど並んで美味しいお好み焼きを食べました。そして帰京前も一時間弱並んでそのお好み焼きを。これが僕たち夫婦の帰省スタイルです。

二度目の帰広は飛行機。空港が市内から離れているので帰りは空港に直行。もちろんそこにもお好み焼きの店がありました。ただ、お昼前と言うこともあり人影はまばら。また、



フードコートでお店が何件も屋台のように並び、とても広い空間で食べるという形式でした。

広い空間にお客が数名。そこで一人食べるお好み焼き。何とも言えない違和感。決して不味いわけではないのですが。まさに東京で食べるお好み焼き。

そうなんです。やっぱり地元で食べてこそその味があるんです。いわゆる味覚だけでなく、街の空気、活気、店の雰囲気。東京にも各地方の美味しい食事を提供するお店がありますが、味だけ持ってきててもダメで、文化も持ってこないと流行らないですね。まさに食は文化です。

## 歯の土台

残念ながらむし歯などで歯の神経の処置をしなければならぬ時があ